

一緒に都市復興のあり方を考えていきませんか

第3回 事前復興まちづくりミーティング

令和8年8月1日（土）



お願い

- 座席についたら、席上の名札にニックネームを書いてください。
- 14時に開会します。開会時刻にはお席についてお待ちください。
- 参加者ご自身による写真・動画の撮影、録音はご遠慮ください。

本日の流れ

1. 区からの説明 区のこれまでの取組と、これまでの検討のまとめについて

2. 基調講演 「回復力のあるコミュニティをつくる」

市古 太郎 先生（東京都立大学 都市環境学部 教授）

-休憩-

3. グループワーク

「それぞれの立場からみた都市復興と、今日からできる事前復興を考えよう」

- ①復興ロールプレイングYES・NOゲーム
- ②都市復興の目標を自分ごととして考えるワーク
- ③今日からできる事前復興を見つけるワーク

-休憩-

4. グループワーク発表

事前復興まちづくりの目的

区がやろうとしていること

いつ起きるか分からない災害に備えて、**都市復興の理念や目標を事前に皆様と検討し、（仮称）杉並区事前復興まちづくり方針**としてまとめておく

事前復興まちづくりミーティングの目的（全3回）

- ・都市復興の理念・目標について、一緒に考える
- ・参加してくださった皆様が、復興について考えるきっかけをつくる

第3回事前復興まちづくりミーティングの目的（本日）

- ・これまでの成果を踏まえた「方針策定に向けたこれまでの検討のまとめ」の共有
- ・自分自身・地域でできる事前復興について考えるきっかけをつくる

首都直下型地震による杉並区の被害想定

多摩東部直下地震（M7.3 冬・夕方・風速8m/s）

- ・区内震度分布(面積)：震度6強…46% 震度6弱…54%
 - ・建物**全壊**棟数：3,233棟（全体の2.5%）
 - ・建物**半壊**棟数：10,676棟（全体の8.2%）
 - ・火災による**焼失**棟数：10,342棟（全体の7.9%）
- 半壊以上
24,251棟
18.6%



耐震・不燃化の取組は着実に進んでいるものの、
依然として一定の被害が想定されています

被害想定出典：東京都防災会議『首都直下地震による東京の被害想定（令和4年5月）』より

都市の事前復興とは

都市の復興とは？

“旧状の水準を超えた新しい価値や質が付加された都市空間を生み出すための措置を講じること”

被災前の状態へに戻す「復旧」ではなく、まちの機能を向上させ、皆さん一人一人にとってより良いまちへと生まれ変わらせるのが「復興」です。



都市の**事前**復興とは？

迅速な都市復興ができるよう、“**災害が発生する前**”に、必要な事項を準備しておくこと

防災・減災

災害による被害がおきないようにする・最小限にするための取組



事前復興

それでも発生してしまう被害に備え、予め復興に向けた準備をしておく取組

都市の事前復興とは

迅速な都市復興ができるよう、

“災害が発生する前”に、必要な事項を準備しておくこと。

<準備しておく事項>

- ・都市の復興のあり方（理念・目標・手法）の検討



区民の皆様との対話の成果をふまえて、
（仮称）事前復興まちづくり方針 としてまとめます

- ・復興手順の検討、復興体制の構築



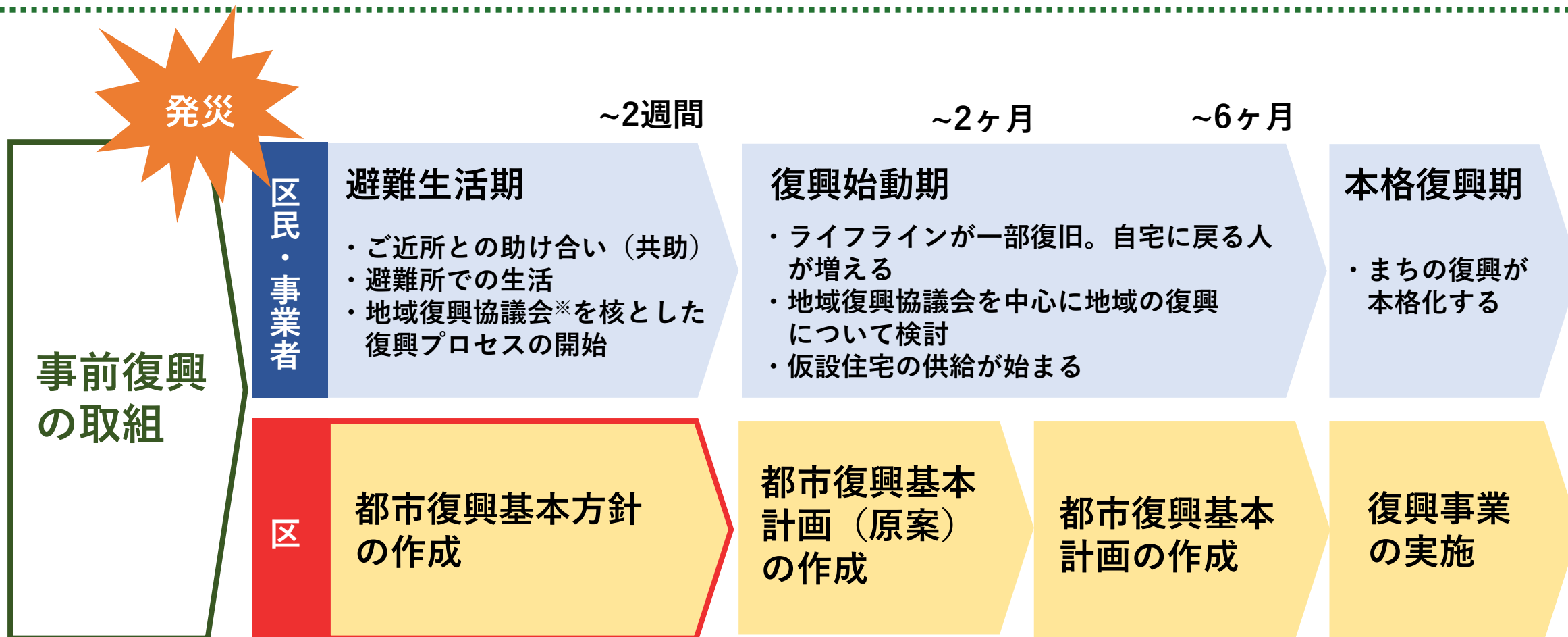
杉並区震災復興マニュアル

- ・復興に当たって必要となる基礎データの整理



地籍調査の実施など

震災後の都市の復興プロセス



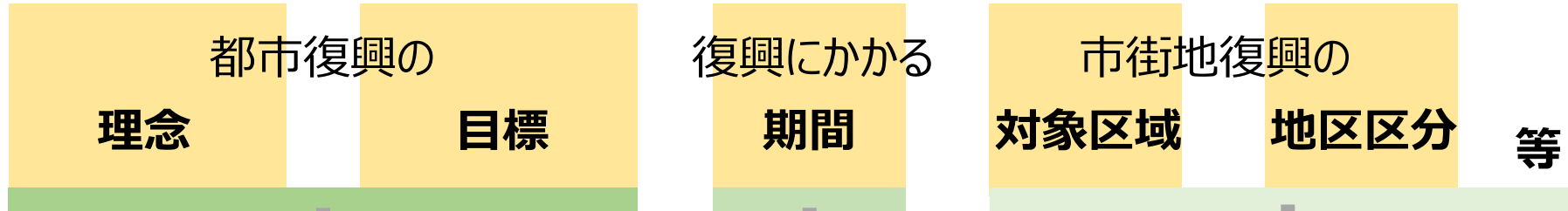
※東京都震災復興マニュアル復興施策ガイドライン（令和7年3月修正）をもとに作成

※地域復興協議会…被災地域の住民や事業者等が主体的に参画し、地域力を生かして復興に取り組む核となる組織

(仮称) 事前復興まちづくり方針で定めること

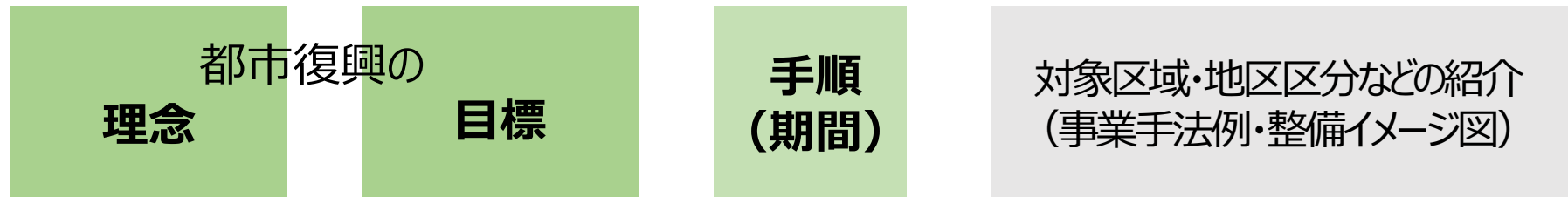
発
災
後

都市復興基本方針



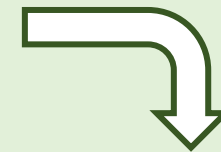
事
前

(仮称) 杉並区事前復興まちづくり方針



目標： 復興によりどんなまちを目指すか

理念： 都市の復興を進める上で前提とする考え



特にこの部分を重視して、「(仮称) 杉並区事前復興まちづくり方針」としてまとめます。

方針策定に向けたスケジュール（対話の取組）

R7年度

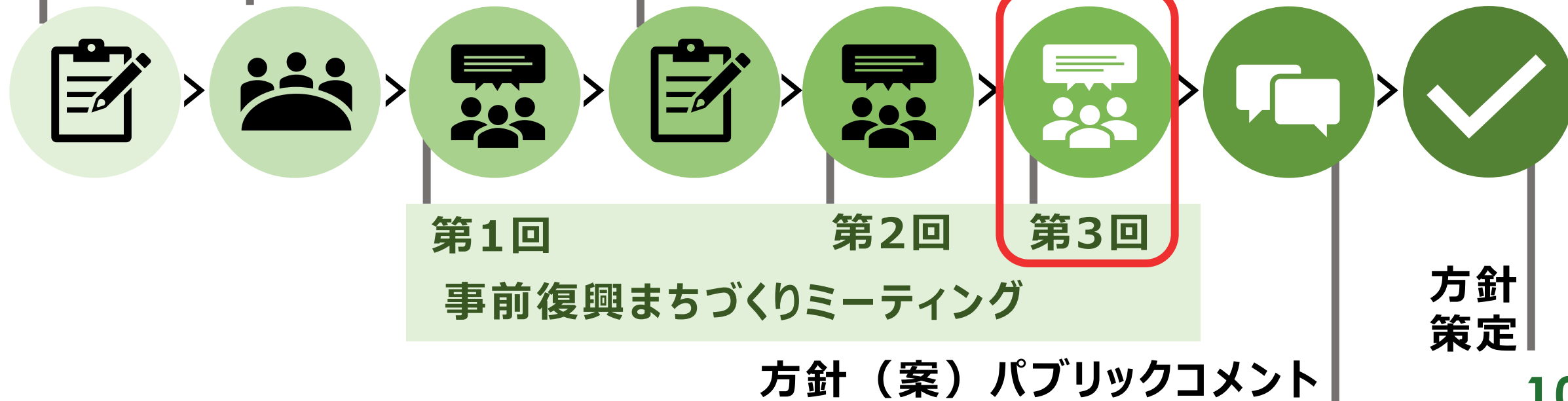
R8年度

R7.7-8 アンケート調査

R7.9.20 聴くオフ・ミーティング

R7.12-R8.1 関係団体向けアンケート調査

本日



事前復興まちづくりに関するアンケート実施概要

一般区民向け

調査期間：令和7年7月29日 ～ 8月20日

対象者：2,800名（16歳以上の区民から無作為抽出）

送付方法：郵送

関係団体向け

調査期間：令和7年12月 ～ 令和8年1月

対象団体：●町会 ●いきいきクラブ※ ●杉並区障害者団体連合会構成団体
●小・中学生保護者 ●区内商店会 ●東京商工会議所杉並支部

※いきいきクラブ…生きがいを高めるためにさまざまな活動を行う、おおむね60歳以上の区民による自主的な団体

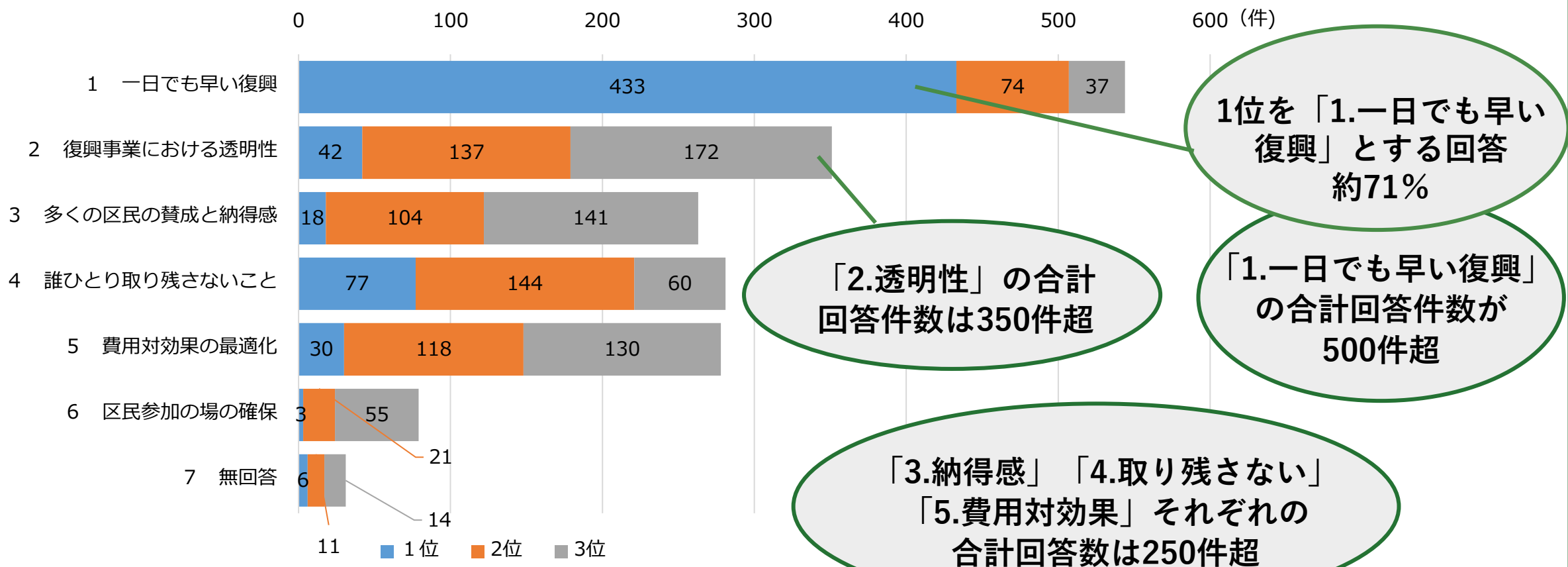
区HPで報告書を公開しています。<https://www.city.suginami.tokyo.jp/s092/23014.html>



事前復興まちづくりに関するアンケート実施結果

(一般区民向けアンケートより抜粋)

問3-1. 復興の進め方において、あなたが大切だと思うことは？（1位から3位の3つを選択）



ゆう杉並（児童青少年センター）シールアンケートについて



事前復興まちづくりについて、
子どもたちの意見を聞いてきました。



実施期間：令和7年12月10日(水)～12日(金)
対象者：ゆう杉並（児童青少年センター）利用者（小・中・高校生）
回答者：123名
回答方法：アンケートパネルへのシール貼り付け（1人1枚）

Q. 選択肢の中で、あなたの思う理想の（復興後の）すぎなみに
一番近いイメージは？（一つ選択）

選択肢	得票数	得票割合	順位
遊びや運動ができる公園・オープンスペースが多い	35	28.5%	1位
勉強などに使える居場所が近くにある	26	21.1%	2位
商店街のイベントや地域のお祭りがたくさん	20	16.3%	3位
道路が広くて安全	18	14.6%	4位
お出かけや通学に便利	13	10.6%	5位
まちにみにみどりが多い	11	8.9%	6位
合計	123		

聴くオフ・ミーティング開催概要

開催日時：令和7年9月20日（土）

13:00～16:30

参加者：18名（区内在住）

意見（フセン）の数：135件

（好きなところ59件 希望79件）



聴くオフ・ミーティング開催結果

<フリップ “復興のために一番大事だったこと” より抜粋>

災害が起きる前に
新しいまちづくりの構想を
区民みんなで共有すること。

聴くオフ・ミーティング

- ・復興はみんなで力を合わせて
震災前より安全で暮らしやすい
街をつくること。
- ・そのためには譲り合いの心が必要
- ・区民の意見を聴きながら、区
リーダーシップの発揮が必要
- ・事前復興の機会を盛り込ませて

聴くオフ・ミーティング

震災により区民の心が疲弊してしま
ので、

コミュニティー（話し合い）ができる
場・機会をつくる。

↑助け合いできるような
なにより、心のオアシス

聴くオフ・ミーティング

コミュニティと地域の特色を
生かした／対応した復興
プランを。

（杉並はカルチャー・ハブからファミリー世帯のまちなど、
色々な異なるニーズ、ビジョンがあることを忘れず！）

聴くオフ・ミーティング

ハースペクティブ (見通し)

理想の未来（施設、コミュニティ...）
を見据え、災害のあるなしに
関わらず計画しておく。

聴くオフ・ミーティング

・道路を広く

・人々が集まれる場所

（公園・広場）コミュニティ
センター

・緑を増やす・静かな街

・街並み大改造

聴くオフ・ミーティング

第1回事前復興まちづくりミーティング開催概要

開催日時：令和7年11月24日（月・休）

14:00～16:30

参加者：21名（区内在住・在勤）

意見（フセン）の数：192件

（ワーク①40件 ②63件 ③89件）



第1回事前復興まちづくりミーティング開催結果

グループワークでは、復興後のまちにも、

- ・大切な“杉並らしさをのこしていきたい”、
- ・復興を契機に“+αのより住みやすいまちにしたい”
- ・復興を契機に“災害に強いまちにしたい”

という意見が多く聞かれました。

杉並らしさを

まもる
のこす

×

みんなの好きなところを

のばす
つなぐ

×

安全性を高めるため
まちの弱点を

かえる
なおす

第2回事前復興まちづくりミーティング開催概要

開催日時：令和8年3月7日（土）

14:00～17:00

参加者：19名（区内在住）

意見（フセン）の数：168件

（ワーク①94件 ②74件）



第2回事前復興まちづくりミーティング開催結果

“復興後のまちで见たい風景（シーン）＝都市復興の小目標”の要素として、多く聞かれた意見をまとめています

まちのすがた① 住宅街

- ・ゆとりのある低密度なまちなみ
- ・安心・安全に暮らせる住環境
- ・広くて安全な、誰もが歩きやすい道路
- ・活発な地域コミュニティ
- ・暮らしやすさとみどりが調和したまちなみ



ゆとり
コミュニティ
暮らしやすさ
安心・安全



まちのすがた② 駅前・商店街

- ・にぎわいにあふれ、暮らしを支える商店街
- ・個性豊かで楽しいお店・イベント
- ・人が集い、自然に交流が生まれる空間
- ・安心して利用できる商業環境
- ・人にも自転車にも車にもやさしい安全な道路・交通環境



にぎわい
個性
交流
安心・安全



まちのすがた③ みどりの多い地域

- ・地域の憩いの場やシンボルとなる身近なみどりの継承と整備
- ・多世代に開かれた交流空間の確保
- ・日常的なみどりの維持・創出
- ・安心・安全なみどりの空間



憩いの場
多世代の交流
みどりの維持・創出
安心・安全



続いて、【資料2】

「（仮称）杉並区事前復興まちづくり方針」 これまでの検討内容のまとめ

をご覧ください。

【資料2】

「（仮称）杉並区事前復興まちづくり方針」

これまでの検討内容のまとめ

令和8年8月1日
第3回事前復興まちづくりミーティング
杉並区都市整備部管理課

第1章

この方針について

方針の目的

「杉並区まちづくり基本方針（杉並区都市計画マスタープラン）」における「防災・減災・事前復興まちづくり方針」を具体化し、復興後に目指すべきまちの姿や復興の進め方について、災害発生前から区民・事業者等との共通認識を形成しておくことにより、災害発生時の円滑かつ迅速な都市復興に資することを目的とします。

対象とする災害

本方針では、杉並区の全域に被害が及ぶ恐れがあり、建物の倒壊や火災による焼失などにより、広域にわたる壊滅的な被害をもたらすおそれのある首都直下地震等の大規模地震災害を主な対象としています。

※必要に応じて、風水害や土砂災害など、他の種別の災害からの都市復興についても、本方針の内容を適用します。

方針の位置付け

